

特別支援学校中学部点字教科書編集資料

中学部（ 英語 ）

1 原典教科書と分冊の方針

(1)原典教科書

種目：英語 発行者：教育出版 書名：「ONE WORLD English Course」

(2)分冊と原典教科書との対応

学年	分冊	原典教科書の対応箇所等
第1学年	1－1 (前期配本)	目次 表見返し この教科書で英語を学ぶみなさんへ Contents Classroom English Springboard 1～6 ローマ字表+英語の書き方のルール 辞書の使い方 How to Study Lesson 1 Lesson 2 Activities Plus 1 Tips for Speaking 1 Lesson 3 Tips for Writing 1
	1－2 (後期配本)	2巻目次 Contents Lesson 4 Project 1 Activities Plus 2 Tips for Speaking 2 Sing Along ① Lesson 5 Tips for Listening 1 Lesson 6 Tips for Reading 1 Useful Expressions 1 Tips for Reading 2

<p>1 - 3 (後期配本)</p>	<p>目次 Contents Lesson 7 Activities Plus 3 Tips for Speaking 3 Project 2 Reading 1 Tips for Reading 3 Lesson 8 Tips for Listening 2 Tips for Writing 2 Lesson 9 Activities Plus 4 Useful Expressions 2 Tips for Reading 4 Project 3 Reading 2 Further Reading 英語学習法</p>
<p>1 - 4 (前期配本)</p>	<p>目次 語形変化のまとめ 不規則変化動詞表 重要構文復習リスト Think and Try 活動例 分野別用語集 つづりと発音 Can - Do 自己チェックリスト</p>
<p>1 - 5 (Word List 1) (前期配本)</p>	<p>Word List</p>

第2学年	2-1 (前期配本)	目次 点字縮約の解説Ⅰ 表見返し (How to Study) この教科書で英語を学ぶ皆さんへ Contents (各章の文法など) 主な登場人物 辞書の使い方 Review Lesson Lesson 1 Activities Plus 1 Tips for Speaking 1 Tips for Reading 1 Lesson 2 Tips for Listening 1 Lesson 3 Activities Plus 2 Tips for Writing 1 Project 1 Useful Expressions 1 Reading 1
	2-2 (後期配本)	目次 点字縮約の解説Ⅱ Contents Lesson 4 Tips for Speaking 2 Lesson 5 Activities Plus 3 Tips for Reading 2 Tips for Speaking 3 Lesson 6 Tips for Writing 2 Tips for Speaking 4
	2-3 (後期配本)	目次 点字縮約の解説Ⅲ Contents Lesson 7 Activity Plus 4 Tips for Listening 2 Project 2 Reading 2

		Useful Expressions 2 Lesson 8 Tips for Reading 3
	2 - 4 (後期配本)	目次 点字縮約の解説IV Contents Lesson 9 Activity Plus 4 Tips for Writing 3 Project 3 Reading 3 Further Reading
	2 - 5 (前期配本)	目次 語形変化のまとめ 形容詞・副詞比較変化表 不規則変化動詞表 重要構文復習リスト Think and Try 活動例 分野別用語集 つづりと発音 Can - Do 自己チェックリスト
	2 - 6 Word List (前期配本)	Word List A~M
	2 - 7 Word List (前期配本)	Word List N~Z
第3学年	3 - 1 (前期配本)	目次 点字縮約の解説V 表見返し (How to Study) Contents 主な登場人物 辞書の使い方 Review Lesson Lesson 1 Activities Plus 1 Tips for Speaking 1 Useful Expressions 1

		Lesson 2 Tips for Listening 1 Useful Expressions 2 Tips for Reading 1 Lesson 3 Activities Plus 2 Tips for Listening 2 Project 1 Reading 1
	3 - 2 (後期配本)	目次 点字縮約の解説VI Contents Lesson 4 Tips for Writing 1 Lesson 5 Activities Plus 3 Tips for Listening 3 Tips for Reading 2 Tips for Writing 2 Useful Expressions 3
	3 - 3 (後期配本)	目次 点字縮約の解説VII Contents Lesson 6 Tips for Speaking 2 Project 2 Tips for Reading 1 Lesson 7 Activities Plus 3 Project 3
	3 - 4 (後期配本)	目次 Contents Reading 2 Further Reading 1 Further Reading 2 Further Reading 3 Further Reading 4 英語学習法

	3 - 5 (前期配本)	目次 語形変化のまとめ 形容詞・副詞比較変化表 不規則変化動詞表 重要構文復習リスト Think and Try 活動例 つづりと発音 Can - Do 自己チェックリスト
	3 - 6 Word List (前期配本)	Word List A~M
	3 - 7 Word List (前期配本)	Word List N~Z

別冊 資料編	第1巻 (前期配本)	英語点字の入門 1 点字の配列表 2 アルファベットと発音 3 句読符と点字独特の記号 4 発音記号の書き方 5 音節の区切り方 6 主な接頭辞と接尾辞 7 英語点字縮約の解説Ⅰ 8 英語点字縮約の解説Ⅱ 9 英語点字縮約の解説Ⅲ 10 英語点字縮約の解説Ⅳ 11 英語点字縮約の解説Ⅴ 12 英語点字縮約の解説Ⅵ 13 英語点字縮約の解説Ⅶ 14 英語点字縮約段階別一覧表 15 英語点字縮約アルファベット順一覧表 16 英語点字縮約字形別一覧表
-----------	---------------	--

(3) 分冊の考え方

第1学年 = 全5巻 第2学年 = 全7巻 第3学年 = 全7巻

別冊資料編 = 1巻

分冊にあたっては、生徒が利用しやすいように1巻150～200ページを目安にした。
原典教科書巻末の Word List は1年では5巻、2・3年では6・7巻にまとめ独立させた。

英語点字の縮約については、2年の1巻から3年の3巻の7段階で導入している。別冊資料編に掲載されている「英語点字の入門」は、2年から7段階で導入される英語点字の縮約について、生徒だけでも学べるようにまとめている。なお、日本語訳は他と箇所とは異なり第1カッコではさんでいる。

2 編集の具体的方針

I

点字を常用して学習する生徒（以下、「生徒」という。）が障害の特性に適切に応じた活動のため、視覚的な情報保障が不十分なため活動として成り立ちにくいものや理解しにくい等の題材及び教材については、必要な合理的配慮となるよう、次の1. 2. に記載する具体的な方針に基づいて「変更」「差し替え」「追加」「削除」しながら点字化を行う。

なお、生徒の障害の特性に基づいた点字化に伴う英語科の特質に応じるためⅡの具体的方針の補足事項を加える。

1. 認知の特性

視覚から映像による情報処理は全体の情報を一度で把握することや一部分を詳しく把握すること、全体と部分を比較しながら捉えることが容易である（即時的把握）。一方、言葉（音声の聴取）による情報処理には、一つ一つの情報をつなぎ合わせて理解することから、距離や方向などは、初めから終わりまでの全ての情報を得てから記憶をたどりながら全体像をとらえることとなる（継次的把握）。

このような認知の特性があることから、即時的把握により理解を深める題材等において、継次的把握に必要な情報を補足するとともに、伝える情報は本質的な内容を選び出し情報を省略したり、図や表等を文章化したり数値化したり、補足の情報を加えたりする必要がある。また、他の保有する感覚を総合的に活用するための配慮が必要となる。

(1) 視覚以外の保有する感覚に依存した生活に基づいた配慮

① 生徒が保有する視覚以外の感覚からの情報を活用して、対象とする事物・事象について深めていく過程を捉えるため配慮する事項について

② 視覚に依存していない生活経験のからは理解が難しい事柄について

・ 配慮事項として、単元の中で取り上げることで、生徒の生活経験としての知識を習得することが望ましい。

(2) 視覚的な情報に依存する認知処理に基づいた理解に伴う困難が生じる場合の配慮

① 視覚的な美しさや感動など、事物・事象について視覚的な情報の保障とともに経験の積み重ねによる感情的な意味付けがなければ理解が難しい事項について

② イラストや写真等の理解が難しい事項について

③ 図や表の理解が難しい事項について

2. 文字処理や点字表記上の特性

点字の1ページは、18行30マス程度と情報量に制約があるため、原典教科書のレイアウトから内容の関係性や優先順位など文章の流れが分かりやすくなるよう考慮しつつ再配置を行うとともに、情報量の調整や配置の調整なども適宜行う必要がある。また、原典教科書は、文字の大きさにより項目の重要度を表している場合、色や字体で重要項目や強調の意味で使用されている場合、図形や線等を原典教科書に書き込む場合等があるため、点字表記により通常の文字（墨字）と同等に理解できるよう配慮が必

要となる。

(1) 表音文字である点字表記上の特性に伴う配慮

- ① 点字表記の特性を踏まえて、番号や記号を付け、枠で囲むなどして、全体の構成が分かりやすいように変更を行った。
- ② 学習活動の中で、表を作成したり空欄に書き出したりする課題では、生徒自身が実際にノートに筆記できる形式に変更を行った。

なお、点字表記などの指導における配慮事項については、文部科学省発行「点字学習指導の手引（令和5年改訂版）」第8章第5節 英語科における指導上の配慮事項（285 ページ～311 ページ）も合わせて参照いただきたい。

※「点字学習指導の手引（令和5年改訂版）」文部科学省ホームページ



II 具体的方針の補足事項

(1) 点字・縮約

日本文の点字表記の規則については、日本点字委員会編集・発行の「日本点字表記法 2018年版」の本則に従っている。英語の点字表記については、国際統一英語点字協議会（ICEB）で発行している“The Rules of Unified English Braille”（Second Edition 2013 2019年一部改訂）によるが、記号等は制限して導入している。また、発音記号については Daniel Jones 式の記号を点字表記したものを使用した。点字の縮約は、2年次から3年次にかけて段階的に導入しているが、新出事項では読みやすさを考慮し、一部フルスペルで表記した箇所もある。

なお、これまで段階的に縮約を導入するがゆえに、実際には存在しない形の縮約を途中で使用する場面があった。しかし今回の編集では、途中段階で縮約表記はせず、最終的な形になるまではフルスペルで表記することを原則とした。

（これまでの例） 【today】 → （第2第3段階で） ・ → （最終形で）

（今回の編集） 【today】 → （第2第3段階で） → （最終形で）

were/ enough については部分縮約を使うケースもあるので、途中段階の縮約も使用している。巻末の資料編はすべてフルスペルで記載した。

(2) 文字サイズ・字体・色の違い

文字の大きさにより項目の重要度を表す場合は、マスあけの違いにより示した。英文中におけるイタリック体は他の字と同じ扱いにしている。色の違いについては対応出来ないため省略した。

文字の大きさにより項目の重要度を表す場合は、マスあけの違いにより示した。字体の違いは、英文中における字体の変化については、イタリック体のみ、イタリック符を使って表記している。（ただし、1・2年では触読への配慮からコーテーション・マークで代用している）色の違いについては対応出来ないため省略した。その他、重要項目や強調の意味で使用されている太字部分については、必要性を考慮し、コーテーション・マークで示した箇所もある。

(3) レイアウト

原本では見開きのページで書かれている箇所もあるが、点字では同様の処理が出来ない場合もあるので指導にあたる方は、その事を念頭においていただきたい。各学年とも分冊ごとに目次を作成し、生徒が必要な箇所が検索しやすいように配慮している。

(4) グラフ・表

基本的に傾向を知るためのグラフは点図に直し、数字が必要な場合には表に直した。点字では内容が把握しにくい表は、要素を取り出し、分類して示した。

(5) イラストや写真等

これらが使われている箇所では、その必要性を考慮しながら、言葉による説明や点図を作成し、生徒が理解しやすい形に改めた。また、それに伴い必要に応じて指示文を変更した。なお音声に集中する必要がある、音声だけで十分理解出来る箇所についてはイラストの説明を省略した箇所もある。本文等の英文に添えられたイラスト等は、内容理解にあたり直接的な手がかりとなるものは説明に置きかえ、それ以外の箇所については説明を省略した。また、会話をしている人物がイラストからの吹き出しで示されている場合は、人名や言葉で置きかえ、誰の発言なのかが分かるようにした。また、アイコンについては日本語の指示で活動内容については分かるため削除した。

(6) 選択肢の処理

原典教科書において記号が付されていない選択肢は、読みやすさを考慮し、かなやアルファベットによる記号を追加した箇所もある。

(7) 下線、枠線等の処理

下線による解答・記入欄は、点字表記が難しいため、空欄に置きかえた。また、記入欄が多い箇所は、読みやすさを考慮し、ナンバリングを行った。表の枠線も削除し、項目と内容を記載順に記述した。

(8) 記号（かっこ）等の処理

かっこによる解答・記入欄は、直接記入できないことから、削除した。説明の中に記載されているかっこ（[]や<>）は、触読のしやすさを考慮し、省略または他のかっこ（「 」や（ ））への置き換えを行った。

(9) 内容の精選と変更

イラスト内で対象物を探す、語句を線で結ぶなど視覚を必要とする活動は、学習の目的を損なわない範囲で活動内容を変更した。情報量が多いものは、学習上必要な部分を中心に引き上げ、内容を精選して掲載した。

3 編集の具体的内容

【今回の編集に係る注意点】

① 採択教科書の変更

令和7年度の改訂により、中学校英語点字教科書の原典教科書が東京書籍の「New Horizon」から教育出版の「ONE WORLD」に変更になった。変更を受けてこれまで「New Horizon」で学習してきた新2年生、新3年生が学習する文法事項に欠落が出ないように、2年・3年の教科書冒頭に収蔵されている **Review Lesson** を活用して指導にあたっていたきたい。

また、原典教科書変更に係る文法移行に伴い、注意が必要な言語材料については別紙「参考資料」を参考されたい。

② 縮約の取り扱い

これまで段階的に縮約を導入するがゆえに、実際には存在しない形の縮約を途中で使用する場面があった。しかし今回の編集では、途中段階で縮約表記はせず、最終的な形になるまではフルスペルで表記することを原則とした。（詳細は2編集の具体的方針Ⅱ(1)点字・縮約を参照）

③ 2次元コードについて

2次元コードは点字教科書には掲載していない。教育出版HPの「学びリンク」より、2次元コードの内容に読み上げでのアクセスも可能なので、活用されたい。

④ 英和単語集（別冊資料編）

これまで別冊資料編に掲載していた英和単語集の内容は、**Word List** で補完できるものが多いため、今回は掲載しない。単語調べ学習では **Word List** を活用されたい。特に3年生の **Word List** は中学までに学ぶべき単語が収蔵されているため、中学卒業後も活用することができる。

⑤ 原典教科書で修正が予測される箇所については点字教科書で修正を加えた。修正の時期により、原典教科書と表記にずれが生じる可能性がある。

⑥ 原点教科書内で示される各活動等において、教科書後半のページを参照したり、取り組んだりする

ように指示されることがあるが、前期の段階ではその部分が配本されていない可能性がある。そのような場合は後期にその部分の活動を行うなどの対応を願いたい。

(1) 体裁・レイアウト

1. 順序

① 教科書掲載内容の順序（目次の書き方）

生徒が必要な箇所が検索しやすいように分冊ごとに目次を作成し、巻頭に掲載している。原典教科書では各課のページとそのコンテンツがまとめて記載されているが、点字教科書ではページ検索しやすいよう、課や活動のタイトルとページ数を示した「目次」と、各課の内容を記した「コンテンツ」を分けて記載している。それ以外は基本的には原点教科書掲載順と同じである。

② 各課内の順序

本文の項目は基本的に次のような順番で掲載している。

[1] 見出し

[2] Words & Phrases（小学校の単語）

[3] Scene

- [4] Check
- [5] Reading Point
- [6] 本文
- [7] Question
- [8] 文の区切り（発音・イントネーション）
- [9] Key Sentence)
- [10] Tool Kit
- [11] Let's Listen
- [12] Think & Try
- [13] Activities Plus
- [14] Read Aloud

③ マスあけ等

Lesson や Activities Plus などの大項目は9マス目から書き始めた。副題は行を変えて9マス目から書いた。以下 Part, Tips for ~などの中項目は7マス目、Key Sentences や Let's Try などの小項目は5マス目から書き始めた。キャラクターの吹き出しのセリフなどは3マス目からアスタリスクを書き、その後に続けて書いた。

(2) 表記法

① Words & Phrases の書き方

Part 1 などの項目の下にブラ下がりと呼ばれる記号の開き記号の中央に Words & Phrases と書き、閉じの記号との間にはさんで表記している。小学校の発信語が続く場合は、2の点の連続線で区切り、線の中央に（しょー）と表記した。「小学校の発信語」のみ出てくる場合には、ブラ下がり記号の開き記号に（しょー）と書いて、単語を はさんだ。や Words & Phrases や小学校の発信語についているアクセントの位置を示す▼は省略した。

原典教科書では、ひとつの Part の単語が見開きの左右に分かれて書かれている場合があるが、点字教科書では一か所にまとめて記載した。

単語はまずフルスペルで書き、2・3年生ではそのあとに発音記号を書いた。縮約表記できるものは発音記号のあと・・・ でつないで縮約形を書いた。

③ Key Sentence・Tool Kit の書き方

活動内容を考慮し、ぶら下がりの中に Key Sentence・Tool Kit のコンテンツをまとめて入れている。ぶら下がりの中真ん中に Key Sentence(s)と書き行を替えて3マス目からサブタイトルを書いた。さらに行を替えて Key Sentence を3マス目から箇条書きにしている。1行空けて5マス目から Tool Kit と書き、行を替えて Tool Kit の内容を続けた。その下に2の点の連続線で W&P（*Words & Phrases のアイコンを言語化したもの）を挟み、行替えして単語を書き、小学校の発信語がある場合は再び真ん中に（しょー）と書いた連続線で区切り行替えして単語を書き、最後にぶら下がり閉じた。

④ Tips for ~の書き方

Tips for Reading などの中では、学習のポイントを最初に示すため、Goal のあと「Tips」の内容を先に書き、そのあとに文章などを書いた。

⑤ 「Read Aloud」「Lesson を振り返ろう」の書き方

点字教科書に回数や評価を書きこむことは難しいため、以下の文言に変更した。

「Read Aloud」・・・「本文を10回を目安に音読練習しよう。」

「Lesson を振り返ろう」・・・「どれくらい達成できたか、4段階で評価しよう」

⑥ Reading、Further Reading の書き方

段落が振られているときは、段落ごとに Words and Phrases、Question などを書いた。また、段落後に改ページした。段落の指示がない場合でも、原典教科書のページごとに内容がまとまっているときは、そのまとまりごとに Words and Phrases、Question を書いた。

⑦ イラストや写真、活動アイコン等

会話をしている人物がイラストからの吹き出しで示されている場合は、人名や言葉で置きかえ、誰の発言なのかが分かるようにした。また、活動アイコン(Listen、Read、Talk、Speak、Speaking、Writing) については日本語の指示で活動内容については分かるため削除した。Talk と Speak については区別できるよう「やり取り」、「発表」とタイトルのあとに記載した。

⑧ WORD LIST

WORD LIST の訳語は記号をつけずに、そのまま書き、訳語中の () は第1カッコ (⠠～⠡) で、[] は第2カッコ (⠢⠠～⠢⠡) で、{ } は二重カッコ (⠠⠠～⠠⠡) でくくった。WORD LIST の品詞表示は、次のように表記している。

- 名詞 = (メイ)
- 動詞 = (ドー)
- 形容詞 = (ケイ)
- 副詞 = (フク)
- 代名詞 = (ダイ)
- 助動詞 = (ジョ)
- 接続詞 = (セツ)
- 前置詞 = (ゼン)
- 間投詞 = (カントー)
- 冠詞 = (カン)